

平成30年度 運輸安全マネジメントの取り組み

東日本物流開発株式会社は、経営トップをはじめ全社員が運送の安全の重要性を深く認識し、安全を最優先とした取り組みを行ってきました。

第11期（平成30年度）は「輸送の安全に対する基本的な方針」に基づき、より一層安全な輸送を実現すべく全社員が一丸となって取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に対する基本的な方針

- (1) 全社員に対して、輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させ、その実現のため経営トップが主導的な役割を果たし、全社員が一丸となって取り組み、絶えず安全性の向上を図る。
- (2) 輸送の安全に関する取組み状況等の情報について、積極的に公表する。
- (3) 公共の道路を使用して仕事をしているという認識を常に持ち、運転に関する知識・技能の研鑽に努め、人身事故の防止を図る。
- (4) ドライバーの心身とも健全であるべく、管理者は日々密にドライバーの状態を把握する。

2. 輸送の安全に関する目標

- ①人身事故・・・・・・・・0件
- ②物損事故・・・・・・・・0件
- ③自損事故・・・・・・・・0件
- ④追突事故・・・・・・・・0件
- ⑤居眠り事故・・・・・・・・0件

3. 輸送の安全に対する投資

- | | |
|----------------------------|-----|
| ①乗務職及び指導者・管理者への安全教育の実施 | 年2回 |
| ②乗務職及び指導者・管理者へのKYT研修の実施 | 年4回 |
| ③全運転者の「運転記録証明書」を取り寄せて個別に活用 | 年1回 |

4. 事故に関する統計（自動車事故報告規則第2条に規定する事故）

平成29年度・・・・・・・・0件

平成30年4月1日
東日本物流開発株式会社
取締役社長 斉藤 博之